

教育拠点が完成

八代市の熊本高専八代キャンパスは5日、学生の起業家教育の拠点となる「コワーキングホール」と3Dプリンターなどの工作機械を備えた「ファブラボ」の完成式典を開いた。

施設は、政府が全国の高専に社会課題解決のための起業家教育環境を整備する事業の一環。

専門棟2階の講義室など約280平方メートルを改装し、ミーティングやプレゼンテーションが可能となるホールを開設した。また、共同教育研究棟1階約120平方メートルには7台の3Dプリンターやコンピューター制御で木材を3次元加工する機械を置き、試作

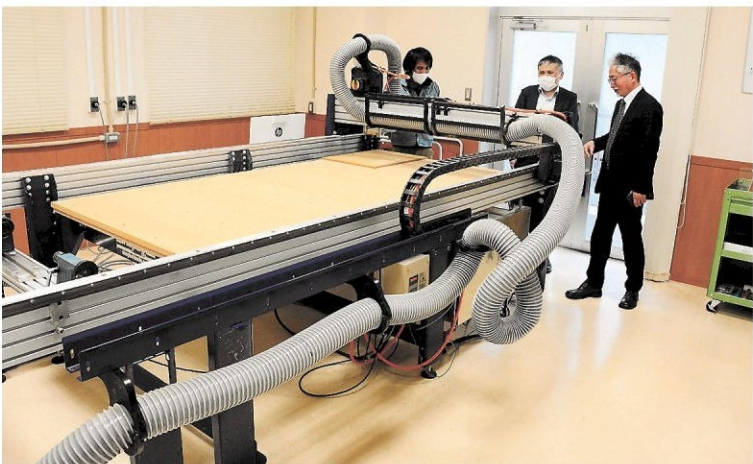
品の製作などさまざまな作業ができるようにした。

関係者ら約50人が参加。高松洋校長が「熊本高専は学生も教職員もチャレンジ精神を重んじている。ぜひ楽しんで利用してほしい」とあいさつした。熊本高専は熊本キャンパス(合志市)にも同様の施設を新設しており、3月14日に完成式典を開く。(山本遼)

学生起業家めざせ



コワーキングホールで談笑する熊本高専八代キャンパスの関係者ら。5日、八代市



ファブラボに導入された木材をコンピューター制御で3次元加工する機械